

ひとと未来

石川の未来へつづく、石川の人のこと。

加速する人口減少。
「令和」の新時代を迎え
私たちに今できることを
考えていきます。

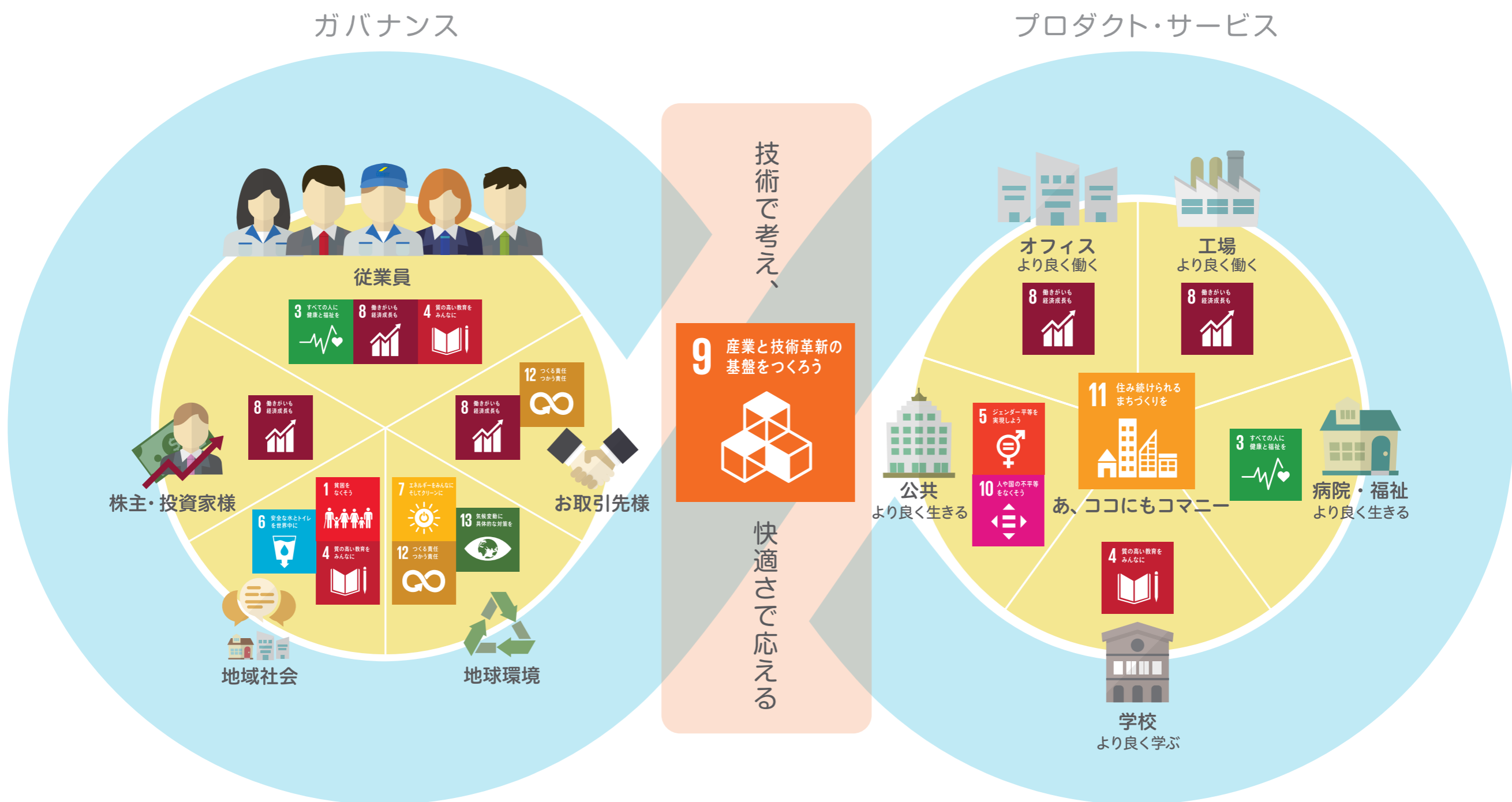
一人一人が光り輝く世の中を実現するために

コマニーSDGs∞(メビウス)モデル

Seeking to strengthen universal peace in larger freedom

- 大きな自由における普遍的な平和の強化を追求 -

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する



石川県では近年、SDGs(持続可能な開発目標)の推進に向けた動きが相次いでいます。金沢市では昨年7月、市と金沢青年会議所、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットの3者が市独自の目標を定め、SDGs推進に向けて動きだしています。内閣府を構成員とするSDGs推進本部が表彰するジャパンSDGsアワードでは、金沢工業大学と会宝産業が受賞しています。

持続可能な開発目標の達成に向けた優れた取り組みを行う自治体として、2018年には白山市と珠洲市、今年7月には小松市が日本政府から「SDGs未来都市」に選定されました。未来都市に選定された自治体は経済・社会・環境の調和のもとで持続可能な開発目標を達成させることが求められていますが、経済面における協働の取り組みとして、小松市と「SDGs推進に関するパートナー協

定」を締結し、より良い社会の実現を目指す企業が小松市にはあります。それがパーティションで快適空間・機能空間を創造するコマニー株式会社です。

コマニーは2018年4月にSDGs宣言を行い、同年9月にはSDGsを経営に実装するための価値創造モデルとしてコマニーSDGs∞(メビウス)モデルを策定し、SDGsを積極的に推進しています。コマニーはまず、商品やサービスを通していかに人々の幸福に貢献するかを念頭において活動しています。さらに、関わる全ての人の幸福や、ステークホルダーである従業員、お取引様、地球環境、地域社会、株主・投資家様の幸福にも貢献するべく、具体的な施策に落とし込み、活動を展開しています。さらにこれらの施策を個別で実施するのではなく、SDGsのゴールの1つにもある「技術革新」を軸として有機的に繋げ、コマニーSDGs∞モデ

ルを持続的に循環させることを目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

やさしいドアシリーズで 過ごしやすい環境づくりを

「やさしいドア」
ビュスモデルの中でコマニーが幸福にしたいターゲットの一つに、病院・医療福祉施設が

あります。

今では当たり前となった福祉施設の木製ドアですが、コマニーがこのドアを開発した当初は鉄製の無機質なドアばかりで、無機質な空間が広がっていました。福祉施設は、利用する人にとって住まいであり住宅です。「施設の部屋が自宅と同じような落ち着いた空間であってほしい」と願う声も自然と聞こえてきます。

そんな思いを実現するために生まれたのが、木ならではのやすらぎや安心感を実現した「やさしいドア」でした。

福祉施設では、車いすの人、歩く速度がゆっくりな方、利用者だけでなく介護を行う職員の方など、様々な人が毎日そこで過ごしています。「やさしいドア」はそんな多くの方に利用されており、実際に使われている姿を見ても、利用者の方がより過ごしやすくなるポイントが見えてきました。

例えば、車いすの人はドアを開け

る際、無理な姿勢でとても不便そうにドアを開けています。そこで、楽な姿勢で開閉できる「やさしいハンドル」をつくりました。また、一度部屋を出るとよく似たドアが並ぶ福祉施設では自分の部屋が判らなくなってしまう方もいました。そんな方も自分の大切な思い出を忘れることはありません。そこで、ドアに「やさしいポケット」をつくり、大切な写真や物を入れておくことで自然と自身の部屋に戻ることができるようになりました。

それだけではなく、ベッドの出し入れの際にドアの枠を傷つけてしまうことに気づき、ドア枠をきれいなまま清潔に保つことができる、施設で働く人々たちにとっても快適に利用できるゴム製の「やさしい枠」を実現しました。

これらの商品は利用者の身になって考えなければアイデアとして表に出ず、開発にまで至りませんでした。

福祉施設で過ごしている人の視線に立ち、様々な方の声に寄り添いながら、「やさしいドア」は進化してきました。

コマニーの技術を世界レベルまで向上させるという思いと、お客様に徹底的に寄り添う行動が2019年度グッドデザイン賞の受賞に繋がりました。コマニーは今後も、このようにコマニーSDGs∞モデルを使ってより良い商品をつくり提供し、人と地域社会、環境に貢献していくとしています。このようなSDGsの取り組みは国内の問題解決にも繋がり、多くの人の幸福に貢献します。今後より多くの企業がSDGsに着手することができれば、日本に留まらず世界まで幸福の輪が広がるでしょう。



「やさしいドア」



「やさしい枠」 「やさしいポケット」 (順不同)